



あおざり

学校の教育目標
立志 共創 自立

新令和7年度がスタートして1か月、多くの子どもたちの頑張る様子が、様々な場面で見られます。今年度、生徒指導主事の浦崎先生が、お昼の放送を利用して、そうした子どもたちの様子を全校に発信しています。その一部を紹介します。

4月15日(火)

「よいところを募集します!」と言ったところ、早速応募がありました。今日は1年1組です。



起立、着席の揃った動き、窓ガラスが割れんばかりの大きな声に驚きでした。これは、全校一、いや、世界一かもしれませんね。

このあいさつは、入学式以来、自然にできるようになり、今では当たり前のようになっているそうです。インタビューをしたところ、1組のみなさんはこう答えてくれました。

棚橋陽輝さん 「あいさつしている自分たちがさわやかな気持ちになります。」

森坂勇仁さん 「いつも僕たちのために一生懸命授業をしてくれる先生たちに感謝の気持ちを込めています。」

和田健太郎さん 「休み時間とのけじめがついて、『さあ頑張るぞ』っていう気持ちです。」

小島稜真さん 「授業に対するやる気が、グンと上がります。」

彼らの素敵な言葉には、あいさつに関わるヒントがあります。それは、

あいさつは、した方も、された方も、よい気持ちになれるもの

ということです。まず、授業前後のあいさつを、1年1組のように、全校をあげて頑張れると素敵ですね。

1年1組のみんな、上野先生、情報提供ありがとうございました。

4月16日(水)

新年度が始まって2週目を迎えていますが、こんな感じで朝が始まります。



全校オリエンテーションで、生活指導部の中島先生が、「8:10までには教室に入りましょう」と伝えましたが、ほとんどの人たちが守ることができています。

次の画像は8:12~8:13頃の3年生の教室の様子です。どうですか?3年7組担任の島田先生に聞

いたところ、「2年生の時はここまで早くなく、4月からとても早くなりました。」とおっしゃっていました。



また、8:05に玄関を通過した、2年4組の奥村光弘さんにインタビューをしました。

「1年生の頃は、8:15に教室に入れるかどうかで、いつも先生方から声をかけられていました。『このままじゃいけない』と思い、起きる時間を30分早め、6:30に起きるようにしました。すごく余裕をもって学校に到着できているし、ちょっとしか食べられなかった朝食もしっかり摂ってから登校しています。ゆとりがあって、楽に生活できているので、もう少し続けてみたいと思います。」

私は、3年生の姿や奥村さんの言葉がすべてだと思います。

○朝ちょっとだけ早く起きることで早く登校することができる。

○ちょっとだけ早く登校することで、遅刻は絶対にないし、早めに読書という前向きな活動を始めることができる。

○ゆとりがあると、バタバタしている時と比べて心に余裕ができる。

ということでしょうか。何か、いいこと尽くしですね。この朝の姿ですが、とってもよいので、ぜひ続けてくださいね。

5月7日(水)

全校のみなさん、こんにちは。今日は3年1組です。写真を見てください。



これは、数学の授業中の写真なのですが、みなさんどう思いますか？他ごとをしている人は一人としていません。全員が授業に集中していて、一人ひとりの「こうなりたい」「ああなりたい」という意思を感じます。一目で分かりました。4人の仲間にインタビューしました。

筑間彩帆さん

「だって、最上級生ですもん。『私たちが長森中学校を引っ張るんだ!!』っていう意識でやっています。後輩たちの手本となる授業を心がけています。うちのクラス、すごいと思いますよ!」

佐久間結逢さん

「やっぱり3年生なので、進路のことはだいぶ意識しています。行きたい高校もだいたい決まっています。だから、1時間1時間の授業は疎かにできないんです。」

上村ももさん

「私たちのクラスは、まだ5月ですけど…、仲がよいんです。それが教え合いの活発さや挙手の多さにつながっていると思います。学習長として、3-1の授業の質を、もっともっと高め合っていきたいです。」

飯沼健心さん

「やっぱり授業が楽しければ、学校生活も楽しいです。だから、僕は授業を楽しもうと思っています。あ、でもふざけて楽しむ…ということじゃないです。真剣に、仲間とともに高め合っていく過程が楽しい、ということです。」

3年生は、「学校の顔」と言われますが、まさにそれにふさわしい姿です。1・2年生は3年生の姿を見て育つものですから、長森中学校全体のことを考えても、本当にありがたい存在です。本当は、3年生全ての学級を紹介したいくらいですが、また次の機会にさせてくださいね。

5月13日(火)

今日は2年7組に潜入してきました。朝の8時15分に覗いてみると…こんな感じてした。



机上には何もなく、私語もありません。全員が本を開き、集中して読書をしていました。写真からも、みんなが同じベクトルを向いているのが伝わります。思わず「おっ」となっていました。でも、このような姿は、自然に生まれるものではありません。背景に何かがあると思い、何人かの仲間に聞いてみました。

「うちのクラスは、誰ってわけじゃないんですけど、自然に呼びかけが起こるんです。例えば、8:10までに教室に入れるように、何人かの仲間が廊下で『7組早くしてー!』って呼びかけるんです。」

「ロッカーの中身が揃っていなかったり何かが出ていたりすると、誰っていうわけじゃないんですけど、それを揃えたり入れたりする仲間がいます。」



「先生とか誰かに言われてやるんじゃなくて、自分たちがこうなりたいから、こうしたいから、やるんだ!」という雰囲気が2年7組にはあります。すごく居心地がいいです。」

と言った感じで答えてくれました。

「昨年以上に頑張るぞ!!」といったやる気、「自分たちでこういう学級を創るんだ!」という主体性を、2年7組の子たちからすごく感じました。また、彼らの教室環境もそれを物語っています。今日も素敵な話を聞くことができて満足です。

毎日の何気ない日常生活の中であっても、仲間とともにより良いものを求めて、よりよい自分を求めて頑張る姿はとても素敵です。

いよいよ来週、再来週は、校外研修、篠島研修、修学旅行となります。各家庭において持ち物の準備、子どもたちの体調管理等、ご支援いただきますようよろしくお願いします。